

ゆきしろみず



地域との調和を願い装飾されたイルミネーション(弊社入口付近)



東防波堤・敷地護岸施工状況



第40回東通村産業まつり開会セレモニー



越冬に備え移動する寒立馬

主な内容

- 特集 準備工事の状況をお知らせいたします……………2
- シリーズ第3弾 働く人がよく見える発電所「土木調査グループ」……………3
- 第4回 東京電力杯ソフトバレーボール大会開催！……………4
- まさかり半島豆知識「ゆきしろみずミニミニクイズ」……………4
- 村民の笑顔……………5
青森県天然記念物の「寒立馬」を、やさしく見守る 東通村尻屋牧野組合
- 盛り上がった地域イベント参加報告……………6
第29回泊地区公民館祭
第40回東通村産業まつり
- 読者の声……………6



東通原子力建設準備事務所

Vol 16
冬号

2008.12.24

準備工事の状況をお知らせいたします

陸上工事

進捗率は敷地造成工事が86%、進入路工事が61%、構内道路工事が87%です。

- 敷地造成、構内道路とも順調に工事を進めています。
- 北側道路、西側道路は竣工いたしました。
- 企業センターヤードなどの造成を行っています。



港湾工事状況

港湾工事

進捗率は1工区(南・東防波堤)が46%、2工区(北防波堤・物揚場)が14%です。

- 東防波堤は約130m、北防波堤は約400mまで延伸いたしました。
- 鋼矢板の打ち込みによる敷地護岸工事を継続しています。



企業センターヤード敷地造成工事

その他準備工事

- コンクリートブロックの製作および石材の運搬・仮置きを継続しています。



H20.11月末の全景



東防波堤・敷地護岸施工状況



敷地護岸施工状況(矢板打ち込み)



北側道路(H20.10月竣工)

準備工事

Q & A

Q1 企業センターヤードって何？

A1 発電所の構内には、東京電力のほか、プラントメーカーや定期検査などを行う企業が沢山入ります。企業センターヤードとは、その企業で働く方々が仕事をする建物を建設する敷地のことです。

Q2 年末年始も工事をするの？

A2 年末は、平成20年12月26日(金)まで、年始は平成21年1月5日(月)から行います。
なお、荒天の際は変更となることもあります。



土木調査 グループ

私たちは、協力企業と連携して、東通原子力発電所の原子炉設置許可申請に関わる地形・地質・地盤調査を行っています。原子力発電所は、地震時の安全性が非常に高いレベルで求められる施設であり、発電所の敷地内は当然として、発電所周辺の広範囲にわたる詳細な調査が必要となっています。

また、発電所敷地内に設置したピオトープネットワークの事後調査や建設工事による周辺環境への影響を把握するための環境監視といった環境調査も行っています。

私たち土木調査グループは、4名と少数ではありますが、このように原子力発電所の建設に重要な役割を果たしており、メンバーが一致協力して、毎日の業務を行っています。

■ピオトープネットワークとは
複数の生物種群の生息・生育地とそれらをつなぐピオトープコリドーを総称しています。

■ピオトープコリドーとは
動物の生息地(ピオトープ)が離れている場合に、生息地間をつないで自由に移動できる生息空間のことをいいます。



試掘坑に向かう調査マン



河西グループマネージャー



協力企業との調査日程の打合せ



試掘坑で岩盤を確認する



断層を調査するメンバー



本店に駐在中のメンバー



冬を迎えたピオトープネットワーク



採取した土壌をチェック

●土木調査グループの業務内容など、お分かりいただけましたか。次回は、「建築グループ」を紹介いたします。

第4回東京電力杯ソフトバレーボール大会開催!

第4回東京電力杯ソフトバレーボール大会を12月7日(日)東通村体育館において開催いたしました。

この大会は、日頃、地域の皆さまからの当社へのご理解とご協力に感謝するとともにソフトバレーボールを通じて地域の皆さま相互の親睦を深め、健康と体力の増進につながることを願い開催しているものです。

大会には、村内各地区の女性からなる16チーム約80名もの方々の参加をいただき、終始白熱した試合が繰り広げられました。



優勝した「I Z B」チーム



16チームが参加



選手宣誓は「マリーンズA」チーム



試合開始の始球式



見事な「アタック」



息の合ったブロック



大接戦の決勝戦

大会結果	
● 優勝	I Z B(稲崎)
● 準優勝	小田野沢(小田野沢)
● 3位	KOKORO(大利・早掛平)・電力疾走(白糠)

参加チーム一覧

Aブロック

- マリーンズA (老部地区)
- 自家発電 (白糠地区)
- B' ~んず (小田野沢地区)
- KOKORO (大利・早掛平地区)

Bブロック

- 安全最優先 (小田野沢地区)
- 電力疾走 (白糠地区)
- MMTいや~んずA (目名地区)
- プチトマト (尻労地区)

Cブロック

- ヤンキース (尻労地区)
- MMTいや~んずB (目名地区)
- 元気力発電 (白糠地区)
- マリーンズB (老部地区)

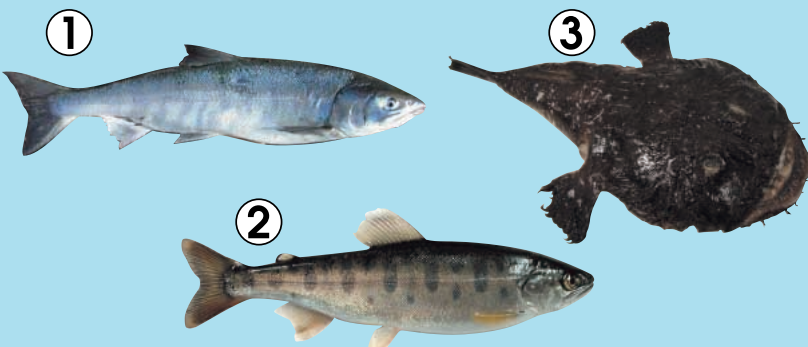
Dブロック

- オール点火 (白糠地区)
- 小田野沢 (小田野沢地区)
- I Z B (稲崎地区)
- MMTいや~んずC (目名地区)

まさかり半島豆知識

ゆきしろみずクイズ

今が旬の真只中、嫌いな方はいない!?というほどの人気のある魚、「鮭」。東通村での昨年度の水揚量は約1,270tと、村の自慢できる名産品の一つであります。さて問題ですが、東通村でもいっぱい捕れる「下北のさけ」として知られる鮭は①~③の何番でしょうか?
※今回はヒントなしでもわかりますよね。



応募方法

答えがわかった方は折込ハガキでご応募ください。正解者の中から抽選で1名様にIH調理器を、そして10名様に東通村産品詰合せをプレゼントいたします。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
〈応募締切/平成21年2月28日(土)当日消印有効〉
クイズの答えは次号に掲載いたします。

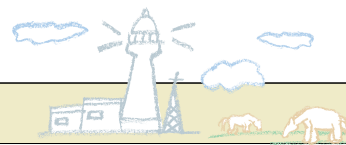
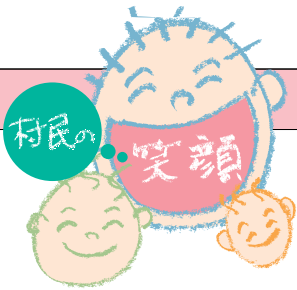


秋号の答え

和心伝心は③でした!
※応募総数52通のうち49名様が正解でした!

個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本広報誌関連の使用を目的とし、第三者に開示・提供することはありません。



青森県天然記念物の 「寒立馬」をやさしく見守る 東通村尻屋牧野組合



風雪に耐え、大地に凜と立つ姿が郷愁を誘う、東通村尻屋崎の寒立馬。灯台付近に雪が積もり草を食めなくなる12月、馬たちは「アタカ」と呼ばれる放牧場へ移されて越冬します。

この寒立馬をあたたかく見守っているのが、地元尻屋地区にある尻屋牧野組合です。寒立馬はもともと尻屋地区の個人が育てていた野放し馬でした。しかし、後継者不足などにより馬を手放す農家が増え、平成7年には9頭に激減。飼育農家も3軒となってしまいました。

東通村では「このままでは絶滅してしまう」と寒立馬保護募金活動と呼びかけ、全国から支援を受けました。現在では1歳馬6頭、2歳馬以上25頭の合わせて31頭が、元気に生息しています。平成14年には「寒立馬とその生息地」が青森県の天然記念物に指定されました。

馬たちは4月から12月まで尻屋崎灯台周辺で草を食んで過ごし、1月から3月までは「アタカ」で越冬します。

11月下旬、尻屋牧野組合の5人と役場職員の手で移動が行われ、12月下旬には「アタカ」へ放牧されます。組合員らが誘導すると、昨年越冬した場所を覚えている馬たちが先頭になり、移動はスムーズに行われました。



安全に注意しながら移動させる組合員



山の上から下へ移動

組合長の坂下康昭さん(51)は、「かつては車道や畑などのある道を通って移動したため、途中大根畑を荒したり、寄り道する馬もいて大変でしたが、今はルートを変更し、草地を移動するので、だいぶ楽



越冬に備え移動する寒立馬

になりました」と話します。

移動のほかにも苦勞するのは5月から7月にかけて行われる出産です。「毎年10頭から12頭が仔馬を産みますが、馬の出産は深夜が多く、体力を消耗するので30分が勝負。お腹が大きい馬の健康管理には、常に細心の注意をはらいます。保護は大変ですが、仔馬の誕生は素晴らしく、顔が全部違ってほんとうに可愛いですよ」と笑顔を見せます。

たくましい足と、ずんぐりとした独特の風貌、粗食に耐える姿が感動を呼ぶ寒立馬。「全国から多くの人が見に来てくれるのは嬉しいですが、飼い馴らされた馬ではないので観光客のみなさんは十分注意して欲しい。組合員が5人なので管理は今の頭数で限界ですが、これからもしっかりと見守り、大事な遺産を伝え続けたい」と決意を語ってくれました。



東通村尻屋牧野組合の皆さん(前列左側が坂下組合長)

六ヶ所村
泊地区

第29回泊地区公民館祭
(平成20年10月12日(日))

10月12日(日)六ヶ所村泊地区公民館において、「集い・ふれあい・学びあい 豊かな地域文化を高めよう」をテーマに、「第29回泊地区公民館祭」が開催されました。

この祭りは、泊地区を始めとする地域の方々から作品を募り展示する事によって、創作活動の促進を図り、鑑賞の機会を提供し、芸術・文化活動の振興を図る事を目的に、毎年開催されています。

恒例となったゲームコーナーでは、当社は、東北電力と共同で、「輪投げゲーム」を開催し子供からお年寄りまで多くの方々に参加していただきました。

今後も、こうしたふれあいの場に参加していきたいと思えます。



みんなとっても真剣です



すばらしい作品の数々

東通村

第40回東通村産業まつり
(平成20年10月26日(日))

10月26日(日)東通村体育館および駐車場をメイン会場に「第40回東通村産業まつり」が今年も盛大に開催されました。開会セレモニーの餅つきを合図に、各地区から出店されたお店では東通牛、新そば、野菜、鮮魚など新鮮なもののばかりで大盛況でした。体育館では、当社は、東北電力と共同で、「喫茶コーナー」を出店し、つかの間のお休憩として「ホットコーヒー、日本茶、麦茶」を提供させていただきました。

また、今年も「寒立馬保護」活動へ微力ながら役立てていただくチャリティーを呼びかけ、来場された方々からの善意17,189円は全額「寒立馬保護基金実行委員会」へ寄贈させていただきました。



開会セレモニーの餅つき



好評だった喫茶コーナー

読者の声

【東通村 Sさん】

発電所が近くにあるのに、どのように工事が進んでいるかわかりませんでした。おかげで少しずつ理解できました。

【編集室より】

いつも、ご愛読ありがとうございます。私も準備工事の進捗について毎回、わかりやすくご説明していきたいと思っています。

【むつ市 Sさん】

今年は残念ながら「ひがしどおりよさこい来さまい祭り」を見に行く事ができませんでした。地域のイベント報告など楽しく読ませてもらいました。

【編集室より】

「ひがしどおりよさこい来さまい祭り」を見られなかったのは残念でしたね。私ももう少し若ければ、踊りたいのですが・・・(笑)。来年は是非、「ひがしどおりよさこい来さまい祭り」を見に来てください。

【東通村 Aさん】

初めてじっくりと読ませていただきましたが、わかりやすく書いてありとても読みやすかったです。

【編集室より】

広報誌の担当者としてうれしいお言葉をありがとうございます。これからも、みなさんのお役に立つ広報誌作りを心がけたいと思います。

【むつ市 Nさん】

オオハングウソウの駆除ご苦労様でした。今年、高校を卒業した娘も在学中学校付近の駆除をして大変だったと言っていました。根をしっかりとらないと増えるみたいですね。

【編集室より】

私は、今年も参加しましたが途中で茎をおらないように、根元から抜くのが大変でした。北米産の植物らしいですが在来植物の生態系に影響を与えないよう、来年も駆除活動に参加し自然の美しい東通村のお役に立ちたいと思います。

お問い合わせ

東京電力株式会社

東通原子力建設準備事務所 広報グループ

〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303
TEL0175-45-7052・FAX0175-48-2019 (月～金・平日午前9時～午後5時)
ホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/nu/hd-np/index-j.html>

◆誌名「ゆきしろみず」とは、雪どけ水のことをいいます。雪どけ水は静かに大地に流れ入り、浸し、潤します。我々も雪どけ水のように地域に浸透し、一体となっていければという願いが込められています。

編集後記

2008年ももう僅かですね。1年が経つのは本当に早いものです。今年、東通村民として2年目を迎え広報誌担当として東通村内を東西南北駆け回りました。取材にご協力を下さった皆さまありがとうございました。

来年も、皆さまに愛読される「ゆきしろみず」を発行していきたいと思しますので、変わらぬご愛読とご声援を宜しく願いたします。

皆さんお一人お一人が喜ばしい新年を迎えられるよう、関係者一同お祈り申し上げます。

担当者 S

